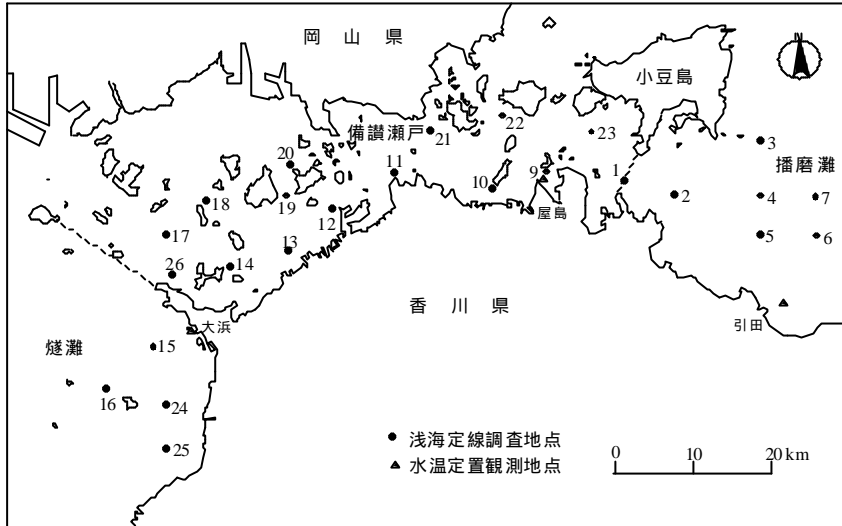


香川県漁海況速報 平成15年10月 (H15- 7号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成15年10月6日(播磨灘)、1日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「やや低めから平年並み」、透明度は「平年並みからやや高め」、溶存酸素は「かなり低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	24.9	24.8	24.6	31.3	31.4	31.6	8.9	4.51	4.31
	平年値	24.9	24.8	24.7	31.6	31.6	31.8	7.0	4.53	4.15
	平年偏差	0.0	0.0	-0.1	-0.3	-0.3	-0.2	1.9	-0.02	0.16
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	25.1	25.0	25.0	30.9	31.0	31.0	3.7	3.98	3.89
	平年値	24.8	24.8	24.8	31.4	31.4	31.6	3.9	4.38	4.21
	平年偏差	0.3	0.2	0.2	-0.4	-0.4	-0.6	-0.2	-0.40	-0.32
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	平年並み	平年並み	やや低め
燧灘	4地点平均値	25.4	25.1	25.1	31.5	31.6	31.6	8.9	4.26	4.14
	平年値	25.0	24.7	24.6	31.5	31.8	31.9	7.6	4.95	4.25
	平年偏差	0.5	0.4	0.5	0.0	-0.2	-0.3	1.3	-0.69	-0.11
	状況	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	かなり低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

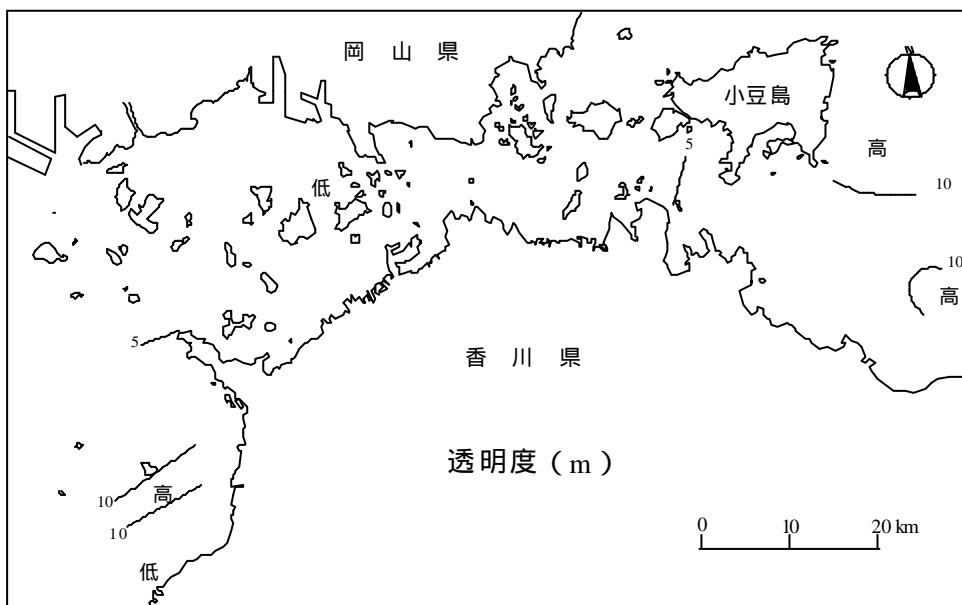
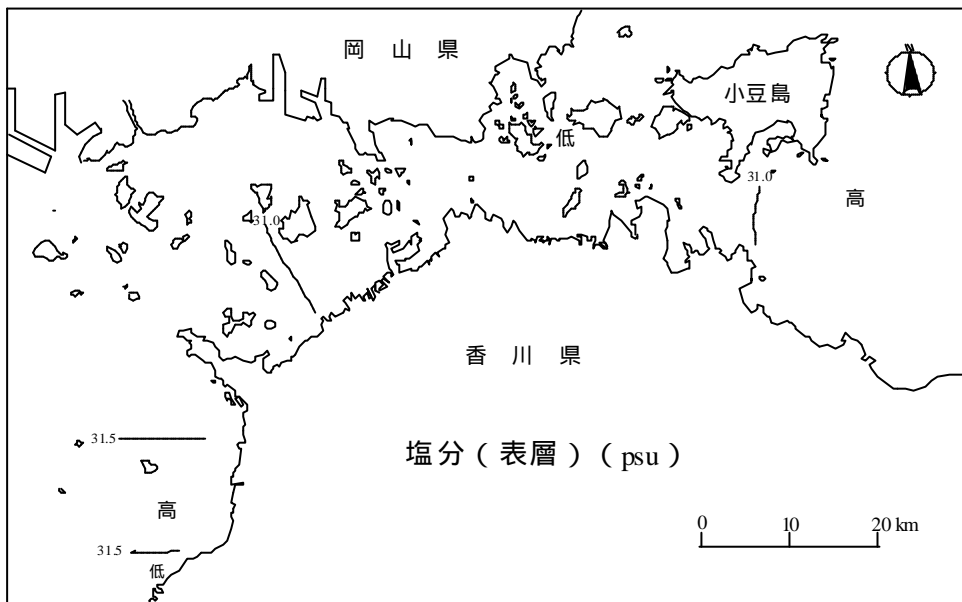
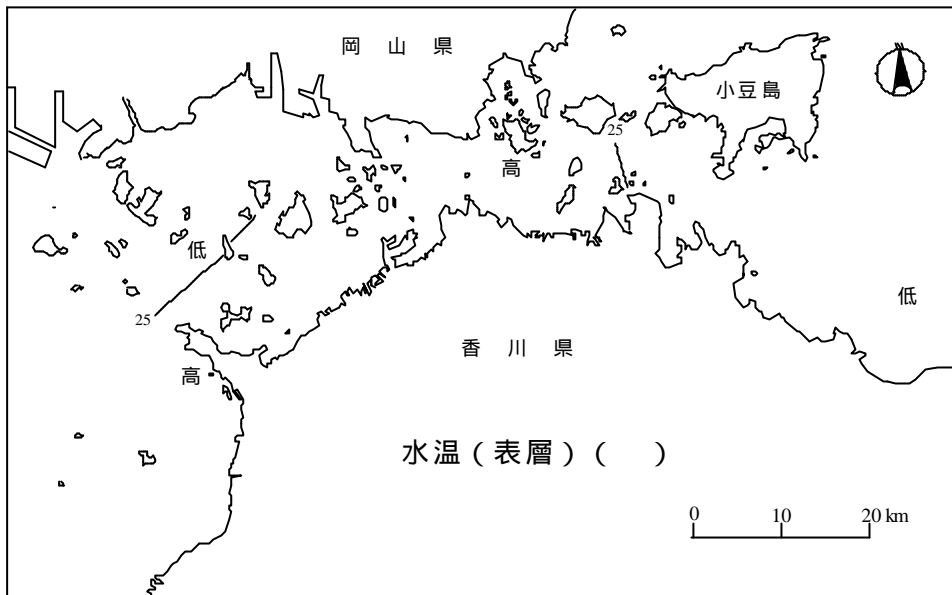
水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み 0 平年偏差 < 0.6 (: 標準偏差)

やや高め(やや低め) 0.6 平年偏差 < 1.3

かなり高め(かなり低め) 1.3 平年偏差 < 2.0

著しく高め(著しく低め) 2.0 平年偏差



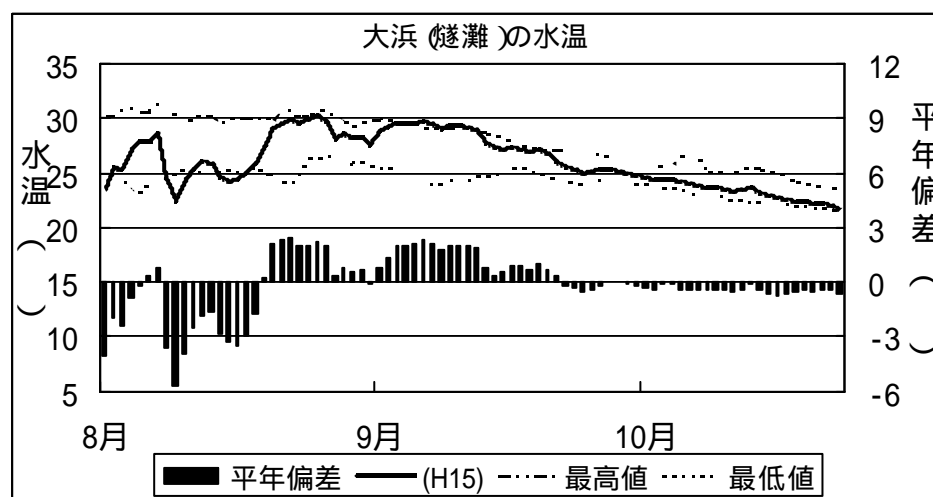
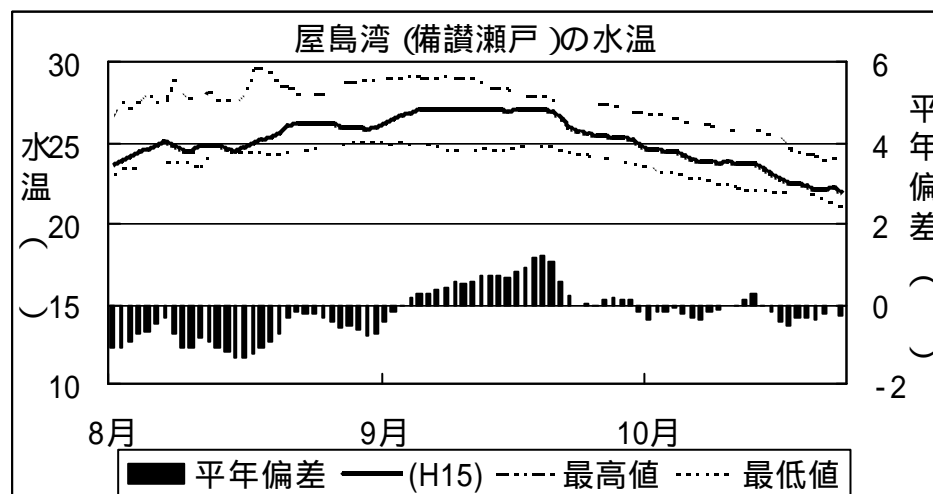
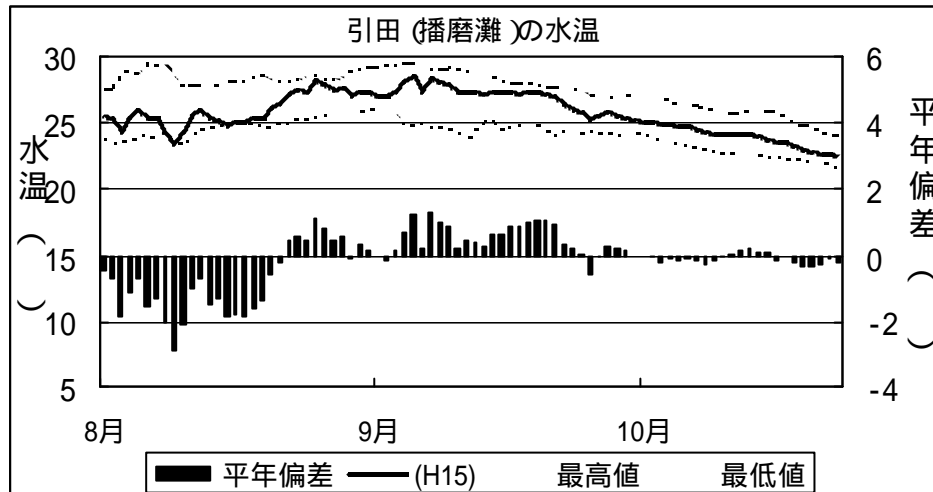
2) 定量観測(水温)

播磨灘(引田): 8月下旬から平年偏差が1 前後で推移していたが、9月下旬に偏差が小さくなり平年値前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 9月に入り徐々に平年偏差がプラスに大きくなった後、下旬に偏差が小さくなり、10月に入り - 0.5 前後で推移している。

燧灘(大浜): 8月下旬から平年偏差が2 前後で推移した後、9月中旬から偏差が小さくなり、10月に入り - 1 前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年
屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。
 備讃瀬戸：発生なし。
 燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成15年10月6日（播磨灘） 1日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量 個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.13	0.38	0.00	0.00	0.00	0.00	1.63	3.38
備讃瀬戸平均	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.93	0.53
燧灘平均	5.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.29	2.86
総平均	1.27	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1.20	1.83

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	4.9%	172.5%	-	-
備讃瀬戸平均	115.0%	0.0%	-	-
燧灘平均	690.0%	0.0%	-	-
総平均	142.6%	109.5%	-	-

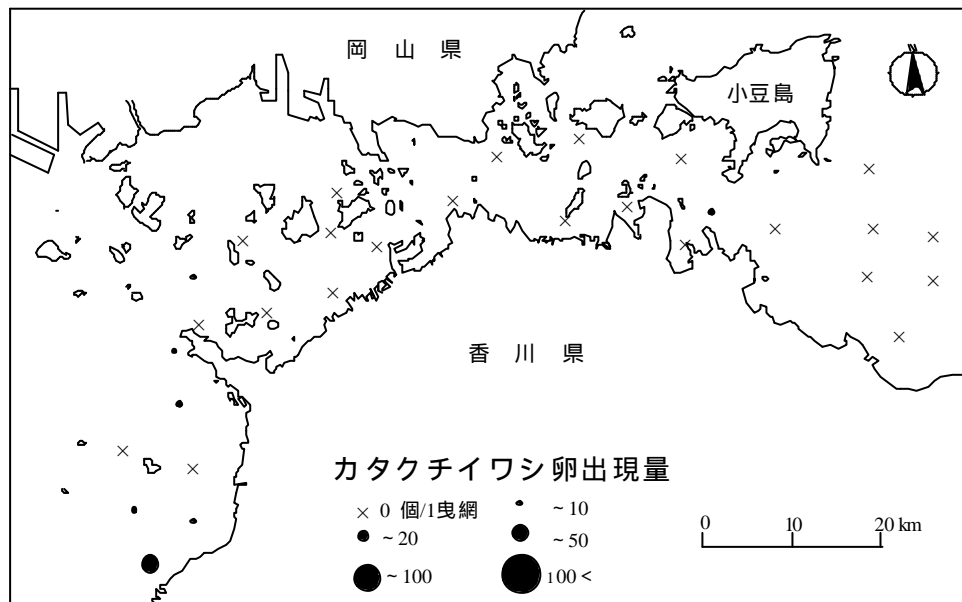
- :平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成14（2002）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成14（2002）年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は、次のとおりである。



2. 漁況

9月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では主にイボダイ、小エビ類、ヤマトカマス、シャコ、小型イカが漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>引田の桁網では前月に引き続き小アジ、ウルメイワシの好漁が続いている。</p> <p>シラス船曳網は10月に入って少し漁獲があったものの低調である。</p> <p>小豆島では1本釣りではハマチの当歳魚が漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、小エビ類、マダコ、イイダコ、小型イカ類が漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にメイタガレイ、シャコ、シロギス、テンジクダイ、小エビ類、トリガイ、アカカマスが漁獲されている。</p> <p>いわし機船船曳網のカタクチイワシ漁は9月に入って休漁状態が続き、伊吹では漁期を終了した。9月までの漁獲量は前年の90%であった。</p>